

# だいせん

# 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



7月29日から30日にかけて発生した局地的な集中豪雨は協和地域峰吉川地区において、2時間に93mmの降雨量を記録。西仙北・協和地域で46棟の住家と非住家が床下浸水、市道の法面崩壊や路肩決壊10路線、水田の冠水は101haに及びました。また、8月14日、17日にも局地的な集中豪雨による被害が発生し、今夏の豪雨被害における補正予算の総額は3億円を超える見込みです。(写真は被害現場を視察する建設水道常任委員。上：路肩が決壊した西仙北地域の外堤・殿屋敷線。左：法面が崩壊し通行止めとなった中仙地域のの中仙18号線。)

## 主な内容

## CONTENTS

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ■ 平成22年第3回(9月)定例会の概要 | 2~3 |
| ■ 5人の議員が一般質問         | 3~5 |
| ■ 委員会審査のあらまし         | 6   |
| ■ 先進地に学ぶ             | 7   |
| ■ 提出された議案と審議結果・請願・陳情 | 8   |

# 平成22年第3回（9月）定例会

## 31件の議案、1件の意見書を議決

第3回（9月）定例会は8月31日に招集され、9月16日までの17日間の会期で行われました。本会議第1日目に人事案4件、専決処分報告1件、条例案6件、単行案11件、補正予算案7件、平成21年度決算3件が上程され、同日に人事案の4件を同意と決しました。第2日目と第3日目に一般質問が行われ、5人が市政全般にわたって市当局の見解をただしました。第3日目には8月中旬に発生した豪雨災害に伴う一般会計補正予算が追加で提案され、4日目の最終日には平成21年度一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定についてを閉会中の継続審査とし、他の案件は承認、原案可決、同意並びに認定と決し、第3回定例会は閉会しました。主な内容は次のとおりです。

### ▽議会運営委員会委員長 辞任の件

本会議1日目、議案等を審議する前に「議会運営委員会委員長辞任の件」が議題となりました。これは現委員長の菊地幸悦議員より健康上の理由から8月2日に委員長の辞任願いが提出されたもの。本会議では委員長の辞任を全会一致で許可するとともに、欠員になった委員長の選任を日程に追加し、議長により指名された佐藤隆盛議員を新委員長に全会一致で選任いたしました。

### 人事案

#### ▽人権擁護委員の候補者推薦に同意

- ・花津谷環氏（豊川・再推薦）
- ・宇野聖子氏（太田町東今泉・再推薦）
- ・三浦廣咲氏（強首・新規）
- ・黒田正明氏（太田町駒場・新規）

布の日、その他は平成22年11月1日から施行するもの。無線局の名称と位置は次のとおり。

- ・西仙北土川鬼頭無線局（土川字鬼頭203番地3）
- ・西仙北大沢郷立倉上戸川無線局（円行寺字ミソハギ9番地3）
- ・南外十二ヶ沢無線局（南外外小友字十二ヶ沢84番地2）

### 条例案

#### ▽大仙市移動通信用鉄塔設置条例の一部を改正する条例の制定について

携帯電話の不感地帯を解消するために整備中の西仙北地域の土川鬼頭、大沢郷立倉上戸川、南外地域の十二ヶ沢の各無線局の供用を開始するため、名称及び位置を条例規定するもの。南外十二ヶ沢無線局については公

#### ▽墓地の永代使用料の還付制度の統一に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

市が設置する墓地の使用料は永代使用料を市に納付することになります。墓地を返納する場合には、永代使用料の還付に係る取り扱いが墓地によって異なっていることから、今般、未使用の墓地を返納する場合に限り、使用許可後の年数に応じて永代使用料を還付することとして取り扱いを統一するもの。具体的には、未使用

## 菊地幸悦議員逝去



菊地幸悦議員（大仙市四ツ屋・61歳）は、去る9月26日、仙北組合総合病院で逝去されました。

故人は平成15年5月、大曲市議会議員に初当選。以来、合併後も大仙市議会議員として通算3期7年5月にわたり務められました。この間、平成19年10月から21年9月まで教育民生常任委員会副委員長として、また平成21年10月から本年8月まで議会運営委員会委員長として議会並びに委員会の円滑な運営に尽力されました。

第3回定例会の一般質問では最初の質問者として登壇し、市政全般にわたり当局の見解をただしております。（3ページに掲載）ここに謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

#### ▽大仙市地域交流センター「はびねす大仙」条例の制定について

大曲駅東側の幸町地内に整備中の地域交流センターの供用を開始するため、名称、位置、使用料等を条例規定するもの。センターの名称は、はびねす大仙とし、使用料については同規模で同様の運用をしている「サンクレスト大曲」の例を参考とした。施行日は平成22年12月1日。

【はびねす大仙の概要】  
 構造▼鉄筋コンクリート造平屋建、一部鉄骨造  
 延床面積▼1,231.4㎡  
 施設内容▼情報展示室、プレイルーム、会議・研修室、体育室等



議会運営委員長に選任された佐藤隆盛議員

## 補正予算

## ▽平成22年度大仙市一般会計補正予算(第4号)

## 専決処分報告

## 【主な内容】

7月29日から30日の局地的な豪雨により被災した農地農業用施設、土木施設などの復旧費につき、歳入歳出予算の総額に3,827万円を追加するもの。

歳入▼地方交付税、分担金及び負担金、市債等の増額補正。

歳出▼農地等の復旧費補助金(西仙北・協和) 1,236万9千円、林道等復旧工事費等(西仙北・中仙・協和) 800万円、市道復旧事業費(西仙北・協和) 540万円、社会体育施設復旧事業費(協和) 418万2千円等の増額補正。

## ▽平成22年度大仙市一般会計補正予算(第5号)

## 【主な内容】

歳入歳出予算の総額に15億6,877万6千円を追加するもの。

歳入▼地方交付税、繰越金、市債等の増額補正。

歳出▼市道除雪に係る委託料等6億8,145万円、土地開発公社解散に伴う保有資産購入費2億4,126万円、県営土地改良事業費負担金1億2,962万円、長期債元金償還金8,180万4千円、公共施設修繕引当基金積立金5,000万円、道の駅なかせんり

ニューアル事業費4,605万8千円、道路台帳作成経費4,372万円、法人立保育所補助金4,319万円等の増額補正。

## ▽平成22年度大仙市一般会計補正予算(第6号)

## 【主な内容】

8月14日及び17日の局地的豪雨により被災した農業用施設や土木施設などの復旧費につき、歳入歳出予算の総額に7,622万7千円を追加するもの。

歳入▼地方交付税の増額補正。

歳出▼農地等の復旧費補助金(大曲・神岡・西仙北・中仙・協和・南外) 1,943万3千円、市道災害復旧事業費(神岡・西仙北・中仙・協和・南外・太田) 1,919万2千円、農道・水路・ため池の応急対応経費(大曲・西仙北・中仙・協和) 1,549万1千円、河川災害復旧事業費1,121万4千円等の増額補正。



豪雨により法面が崩壊した西仙北地域の  
新屋敷1号線

## 一般質問

5人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をたどしました。  
以下はその要旨ですが、詳細については大仙市議会ホームページの  
会議録をご覧ください。

## 一般質問

大曲保育会の  
保育士採用について

だいせんの会  
菊地 幸悦 議員

## 商店街等新規開店助成金について

◆平成16年度の旧大曲市において交付された商店街等新規開店助成金の一部について、近隣商店街の方々等から不満の声が多く聞かれている。補助金交付決定に至る経緯等について伺いたい。

◆大曲保育会における職員採用の現状と、今後の望ましい職員採用のあり方についてどのように考えているのか。

## 【栗林市長】

以前は公募し、試験により正職員を採用していましたが、その試験のみで採用を決めた場合、保育士としての適性を見極めるのが困難であるとの理事会の判断により、平成18年度からは臨時職員として一定期間経験を積んでいただく中で適性を判断するとともに、勤務成績が優秀でかつ法人の実施する試験に合格した者を嘱託職員に登用し、更に嘱託職員として勤務成績が優秀でかつ試験に合格した者が正職員に登用されるという方法をとっているとのこと。職員採用はそれぞれの法人の権限の中で、理事会での採用方針の決定に基づき行われているところでありますが、大曲保育会においても同様に理事会の決定に沿ってルール化し実施しておりますが、その内容は法人の裁量の範囲内と理解しております。職員募集に係る市広報掲載も選択肢の一つとして受け止めておりますが、昨今の雇用情勢を考慮しての就職希望者への多様な情報発信の視点に立って、この度の質疑の内容を正確に伝えたいと考えております。

【栗林市長】本制度については、中心市街地の活性化に向けた施策として、魅力ある商店街の形成と商店街の組織化を図り、活性化を促進することを趣旨として、新規開店をしようとする事業者を支援するため、平成16年に制度が創設されました。また合併後の大仙市においても、その制度の必要性から趣旨が引き継がれ、現在も制度のPRに努めているところでもあります。交付決定に至るまでの経緯については、一般の飲食店から飲食店兼民宿に事業拡大する申請書が提出されたこと、並びに関係商店街団体からも新規加入した商店であることの通知を受け、対象要件を満たし、助成対象経費としても適正であり、事業費の総額の3分の1以内で限度額の百万円が交付決定されております。

※菊地議員はこれらの質問の他、「仙北組合総合病院改築の早期実現について」「黒瀬踏切アングラー化部分への開通時期について」の質問も行いました。

一般質問

上水道整備について



大地の会 金谷 道男 議員

◆安心安全な水確保の手段となる小規模簡易水道の助成制度の改善が必要と思うが、いかがか。

【栗林市長】 施設整備費の他市の状況であります。県内12市中、能代市、大館市、鹿角市、北秋田市の4市が当市と同様に非公営の簡易水道及

◆市の水道事業基本計画では、水道整備率の低い東部地区について現状調査を実施し、事態に即した簡易水道事業を実施することとしている。その後、どのような実態把握をしたのか。

【栗林市長】 基本計画におきましては、中仙、仙北及び太田地域の未普及地区全戸を対象に、現在使用している飲料水、生活用水の水源、水質検査の実施状況、飲料水の水量や水質への不安や不満、市営水道整備完了後の加入意思等について、平成19年10月に5,677戸にアンケート調査を実施しております。平成20年2月に84・7%の高い回収率を得ており、これらの調査結果を踏まえ、飲料水に不安・不満を抱えている地区で、加入する意思の高い地区として、中仙地域の豊川地区、仙北地域の払田地区を中心とした仙北東地区、太田地域の太田東部地区の3地区を対象に整備計画を策定したものであり、アンケート調査実施から日が浅いこと、また非常に高い回収率であったことなどから、実態は前回アンケート実施時と現在とで、そんなのないものと判断しており、その後の調査は実施しておりません。

び小規模水道組合を対象として施設整備費補助を行っておりますが、当市の補助率及び限度額は他市と比較して手厚いものとなっております。水質検査経費に対する助成であります。施設整備費補助金と同様の認可を受けている非公営の簡易水道及び小規模水道を対象として助成しております。ただし、太田地域においては、個人への助成ではありませんが、各地区の飲料井戸の水質の状況を把握するため、毎年度地点を変え、個人井戸の水質検査を市で行っているところです。このようなことから、少数組合の小規模水道への移行の啓蒙を図って参ります。が、自家用井戸等を水源としている使用者が多数おられる現状を踏まえ、30人未満の少数組合の実態調査を行いながら、施設整備及び水質検査に対し、どのような助成方法が可能か検討し、安全で安心な飲料水の確保に努めて参りたいと考えております。

※金谷議員はこれらの質問の他、「実施計画について」、「機構改革について」の質問も行いました。

一般質問

子ども条例の制定について



公明党 杉沢 千恵子 議員

てはどうか。

◆児童虐待の事件が後を絶たない。子供たちの将来・未来を守るため、「大仙市子ども条例」を制定してはどうか。

【栗林市長】 平成元年11月、国連で採択された子どもの権利条約に対し、日本が平成6年に批准したことを契機に、子どもの権利を尊重する社会づくりや子どもを取り巻く環境の整備に努めるため、子どもの権利を総合的に保障する条例を制定する自治体が増えており、現在、県内では県と秋田市において条例が制定されております。条例制定につきましては、身近な地域や生活の場での子どもが健康やかに育まれ、かつ市民一人ひとりが子どもの育成に誇りと喜びを感じることができ、社会を目指すことに意義がありますので、家庭、地域、学校、企業、行政等、様々な角度、観点からより多くの声を集め、一体となって子どもの育成を推進する市民参加型の組織を形成し、その合意形成を図る形で「大仙市子ども条例」を制定して参りたいと考えております。

非核平和宣言都市について

◆非核平和の意識向上のため、市内の全図書館に「平和図書コーナー」を設置し

【栗林市長】 本市では平成17年6月に議員の皆様の決議により「非核平和都市」を宣言し、合併前の旧大曲市からの継続事業である「非核平和映画会」の開催のほか、平成19年度からは、市内の中・高校生を被爆地広島に派遣する「非

核平和レポート」派遣事業」を実施しております。しかしながら映画会については、来場者が年々減少傾向にあることから、今年度は、映画会を一旦休止し、非核平和レポート派遣事業の研修発表を中心に、広島市から被爆体験者をお招きしての講話会や平和への願いを込めたピアノ演奏を行う「市民平和の集い」として9月22日に市民会館を会場に準備を進めております。今後も、内容など見直しを図りながら、非核平和の普及・啓発につなげて参りたいと考えております。

「平和図書コーナー」の設置につきましては、蔵書数や展示の手法を含め、基幹図書館である大曲図書館での設置について検討して参りたいと存じます。

◆交流都市の子どもたちとの「子ども平和会議」を開催してはどうか。

【栗林市長】 市民に対して非核平和の普及・啓発を進めるべく、新事業の展開を始めたところであり、今後の課題とさせていただきます。

※杉沢議員はこれらの質問の他、「超高齢者の実態について」、「女性の登用について」の質問も行いました。

## 一般質問

### 学校教育だいせん ビジョンについて



新議会  
小山 緑郎 議員

ことになった大曲南中においては、今年度から角間川小、藤木小と連携して3校で環境教育の在り方に関する調査研究。協和小・中においては県の事業を活用し、9年間を見通したキャリア教育の推進に取り組み、望ましい勤労観や職業観の育成を図っております。

◆学校規模適正化計画（神岡、西仙北、南外）を除く、中期目標の状況は。

【三浦教育長】20年10月に太田南小、太田北小の保護者、地域の方々を対象として開催し、21年12月には両校の保護者を対象に説明会を開催しております。中仙地域については、21年12月に豊岡小、豊川小のPTA開催時に開催しております。

22年2月には、東大曲小の地域の方々からの要望により説明会を開催しておりますが、大曲地域の他の学校につきましても、適正化に該当する小規模校がありますので、今後、地域や保護者の方々の意見交換の場を設けて参りたいと考えます。

◆小・中連携教育の現状と今後の目指す方向、その実現性は。

【三浦教育長】今年度は4つの中学校区において、それぞれが特色あるテーマで小中連携教育を推進しています。横堀小と仙北中は、外国語活動・外国語科を軸にした小中連携のあり方についての実践的研究。中仙小、清水小、中仙中においては全国学力・学習状況調査を活用した調査研究。秋田県初のユネスコ・スクールの認定校で県の環境大臣賞を受賞する

す。今後は、4地域の成果を市全体でも共有し、小・中連携はもちろんのこと、小・中学校において、幼稚園、保育園、高校、大学などとの一層の連携を図ることにより、「共に支え合い」「開き、信頼される」学校づくりを地域の皆様方と共に目指して行きたいと考えます。

◆統合された場合の学校、体育館等の利活用をどのように考えているのか。

【三浦教育長】協和地域の例では、旧荒川小は新校舎建設のため解体、旧峰吉川小は民俗資料文化財展示館に、旧小種小は公文書保管施設及び地元の農事組合法人「エコ・ファーム」が行う搾油施設として、旧稲沢小は学校資材備品庫として、旧船岡小は環境資材格納庫として利用しています。これから統合となる学校、体育館などの利活用については、現在のところ具体的には決まっておりますが、協和地域の例も参考にしながら、広く市民の皆様や地域の方々からご意見を伺いながら、今後検討して参ります。

※小山議員はこれらの質問の他、「スポーツ振興計画について」の質問も行いました。

## 一般質問

### 中学生までの 医療費無料化について



日本共産党  
佐藤 文子 議員

住宅リフォーム  
助成制度について

◆住宅リフォーム助成制度の活用が多く地域経済効果が大きいとの評価がされ、追加の補正予算も計上された。是非、来年度も事業を継続すること、補助対象に屋根の塗装も含めるよう求めるが。

◆子育て中の親御さんにとりまく経済状況は大変厳しい状況が続いている。当市でも中学校の医療費無料化を求めるが。

【栗林市長】大仙市は全県下でも手厚い子育て支援策を実施しており、子どもを安心して産み、育てられる街にしていきたいとの考え方から、福祉医療制度においても合併時に所得制限を設けず、小学生までを対象とした医療費の助成を行って参りました。しかし、厳しい財政事情の中、長期的に継続できる事業とするため、平成18年8月から市独自の所得制限を設け実施しているところであります。この実施にあたっては、大仙市子育て支援意見交換会を開催し、子育て中の母親の皆様から様々な意見を伺ったところがあります。近年、県においても財政難から補助基準の見直しを検討しており、市の負担が増えることも予想されることから、医療費無料化を含め、現行の多様な子育て支援サービスを後退させないことが重要と考えているところであり、現在のところ、中学生までの医療費無料化については考えておりません。

8月末現在の状況は申請数で309件、補万円となっており、既に補助金ベースで予算額9千万円に対し71.1%に達しております。また、この事業の総工費は約8億9,200万円となっており、居住環境の向上を図ると共に経済危機対策として市内住宅関連産業の活性化及び雇用の創出に大きく寄与しているものと考えております。このようなことから、本年中に補助金の不足が予想されるため、市独自の予算となりますが、2千万円の増額補正を本定例会にお願いしているところであります。来年度の実施につきましては、国や県の動向を注視しながら新年度予算に向けて検討して参りたいと考えます。また補助対象工事に屋根の塗装なども含めることにつきましては、環境対策工事を行いながら同時に工事を施工することによって、この事業の補助対象になるものでありますので、よろしくご理解賜りますようお願いいたします。

※佐藤議員はこれらの質問の他、「新たな保育制度について」「国保運営と広域化」についての質問も行いました。

## 総務民生常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、専決処分報告1件、条例案2件、単行案2件、補正予算案4件で、いずれも承認、原案可決すべきものと決しました。専決処分報告は、7月29・30日の集中豪雨に係る市職員の時間外手当及び消防団員の費用弁償82万9千円の補正。条例案は、必要な財源を確保し将来の施設修繕に引き当てるための「大仙市公共施設修繕引当基金条例の制定」及び墓地を返還する際に生じる永代使用料の還付を統一する「墓地の永代使用料の還付制度の統一に伴う関係条例の整備に関する条例の制定」。単行案は、中仙地域の基盤整備事業に伴う「字



集中豪雨で被災した中仙一般廃棄物最終処分場の管理道路

の区域の設置」及び「字の区域の変更」。一般会計補正予算（第5号）は、公共施設修繕引当基金積立金5,000万円、市債の繰上償還金8,180万4千円、土地開発公社保有資産購入費2億4,126万円の補正など。同じく補正予算（第6号）は、8月中旬に発生した集中豪雨に係る市職員の時間外手当及び消防団員の費用弁償528万6千円、中仙一般廃棄物最終処分場管理道路の復旧費240万7千円の補正でありました。また、「郵政民営化のさらなる推進に関することについて」の請願及び「司法修習生の給費制の存続を求めることについて」の陳情は、いずれも継続審査と決しました。（委員長 武田 隆 記）

## 企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、専決処分報告1件、条例案3件、単行案1件、予算案2件で、いずれも承認、原案のとおり可決すべきものと決しました。専決処分報告「平成22年度大仙市一般会計補正予算（第4号）」は7月29・30日の集中豪雨によって被災した農地等を復旧する農林水産施設災害復旧費。条例案のうち「大仙市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の制定について」は、平成23年7月に東西の農業委員会を統合して新たに設置する大仙市農業委員会の委員定数を40名とするほか、必要な事項を定めるもの。単行案「大仙市過疎地域自立促進計画の策定について」は過疎地域自立促進特別措置法の期限が延長されたことに伴い、新たに平成22～27年度の過疎地域自立促進計画を策定するもの。予算案のうち一般会計補正予算（第5号）は、光ファイバケーブルを電力柱等に共架・添架することで発生する使用料を負担する超高速情報通信基盤整備事業費や、道の駅なかせんにアーケードやスロープの設置、屋根・外壁の塗装等リニューアルを行い、賑わいの創出・活性化を図る地域農業総合管理施設費など。同じく補正予算（第6号）は8月14・15・17日の豪雨災害へ対応する農林水産施設災害復旧費でありました。（委員長 橋村 誠 記）



リニューアルされる道の駅なかせん

## 教育福祉常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、専決処分報告1件、条例案1件、単行案1件、一般会計・特別会計補正予算各1件、21年度市立大曲病院事業会計決算1件で、いずれも承認、原案可決及び認定すべきものと決しました。条例案の「大仙市地域交流センター「はびねす大仙」条例の制定について」は、大曲駅東側の幸町地内に整備中の地域交流センターの供用を開始するため、名称、位置、使用料などを条例規定するもの。一般会計補正予算の民生費のうち、地域児童健全育成推進事業費は、「はびねす大仙」内に花館小学校区域児童を対象とした「第2いちょう児童クラブ（仮称）」を開設することに伴う関連経費の補正など。衛生費のうち、予防接種経費は、接種後の副反応の発症により、国において積極的な勧奨を控えていた日本脳炎ワクチンについて、新たに開発されたワクチンの供給実績や副反応の状況、専門家の意見等を踏まえ、厚生労働省から積極的勧奨の通達が出されたことを受け、ワクチン接種に係る予算を補正するもの。教育費のうち、保健体育総務費補助金は、大仙市スポーツ少年団の全県・東北・全国大会出場が多くなり、旅費等に係る父兄の負担が増加しているため、宿泊費や旅費の一部を補助して経費負担を軽減するための補正などでありました。（委員長 金谷道男 記）



工事中の大仙市地域交流センター「はびねす大仙」

## 建設水道常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、専決処分報告1件、条例案1件、単行案4件、平成22年度一般会計・特別会計・上水道事業会計補正予算6件、平成21年度大仙市上水道事業会計決算の認定1件で、いずれも原案どおり可決、同意、承認、認定すべきものと決しました。条例案の「大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について」は、まちづくり交付金事業により大曲駅東側の幸町地内に整備中の公園の供用を12月1日から開始するもので、名称は「しあわせ公園」とするもの。単行案の「市道の路線の認定について」は、国道13号神宮寺バイパス整備事業に伴い、神岡地域の沖田嶋2号線を認定するもので、これにより市道の路線数は6,574路線、実延長は464m増の4,954.79mとなるもの。22年度一般会計補正予算（第5号）は、市道除雪に係る除雪対策費として6億8,145万円の増額。地域活力基盤創造交付金事業費（中仙4号線）は、工法の変更により5,010万円の減額。同事業の上ノ台1号線は小学校の通学路等に利用されている路線に歩道を設置する経費として4,158万9千円の増額。道路新設改良工事費負担金は大仙市土地開発公社の解散に伴い、債務負担行為で支払っている中沢工業団地道路整備事業に係る未償還残金を繰上償還する経費として3,789万円の増額補正等でありました。（委員長 佐藤芳雄 記）



工事中の「しあわせ公園」

# 先進地に学ぶ!

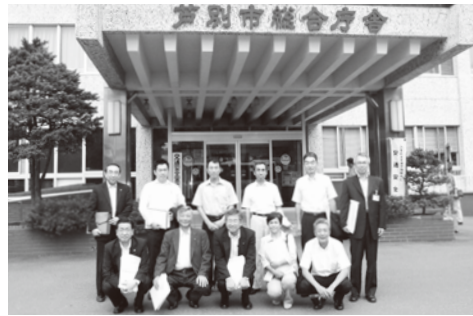
7月に総務民生常任委員会と企画産業常任委員会が視察研修を行い、研修レポートが提出されましたので、ご報告いたします。

## ■総務民生常任委員会

7月20日から22日にかけて、北海道千歳市と芦別市を視察しました。

千歳市では、「指定管理者制度」について視察しました。同市では、指定期間の基準を5年とし、現在は26施設について指定管理をしているとのことでした。140近くの施設を指定管理している大仙市から見ると少ないように感じられました。公募によって指定管理者を募集しており、指定後は、事業報告書・月例報告書などにに基づきモニタリングを徹底しているとのことでした。また、大仙市では実施していない図書館の指定管理についての説明があり、直営のときよりも年間稼働日数が増え、利用者数及び貸出冊数も増えたなど、サービス向上につながっているとのことであり、決して指定管理に向かない施設ではないとの説明がありました。

このように、大仙市とは少し異なる実施形態でありましたが、逆



芦別市で環境対策などを研修した総務民生常任委員会委員

にそのことで、多くのことを学ばせていただきました。

芦別市では、「環境対策」と「地域新エネルギービジョン」について視察しました。同市は、深い緑と水の恵みなど、豊かな自然に囲まれたところであり、この良好で快適な環境を守り育てるために「環境基本条例」を制定したとのことでした。平成22年度以降の具体的な取り組みとしては、一人当たりのごみの排出量を10%減量し、リサイクル率を50%まで向上させるなどの目標を設定し、マイバツ

グの普及促進や環境教育への取り組みなど、具体的な項目を掲げて推進しているとの説明がありました。

また、新エネルギーに関する市民意識調査では、関心があると答えた人は90%以上とのことでした。その具体的な取り組みとして、間伐材などの木質バイオマス資源や廃食用油など生活廃棄物の利用促進、低公害車の導入促進など、省エネルギー型社会の実現に向けた活動と啓発に取り組んでいるとのことでした。

新エネルギーを含めた環境対策に対する市民意識の高さと行政の積極的で斬新な施策は、大いに学ぶものがありました。

(委員長 武田 隆 記)

## ■企画産業常任委員会

7月13日から7月15日にかけて北海道石狩郡当別町、ホクレンパールライス工場（石狩市）、滝川市を視察しました。

当別町では「米の販売拡大戦略について」の研修を行いました。北海道では、生産者による長年の地道な品種改良の結果、以前からの食味の面で遅れをとっているときれた道産米のイメージを完全に払拭し、現在では消費者や実需者のニーズに沿った「売れる米づくり」を目標に掲げ、

さらさら397、ほしのゆめ、ななつぼし等、个性的で多彩なラインナップを形成しております。さらにはマスメディアを活用した「愛食運動」など販売促進活動の推進、広域ブランドの確立など地域の特徴を生かした販売活動の展開により、道内で消費される道産米の割合も、約10年前に3割程度であったものが現在では7割を占めるまでになっていきます。我が秋田においては少品種への偏重による弊害も生じつつある中、このような積極的な販売戦略を大いに参考にしていきたいと思います。

続いて視察したホクレンパールライス工場でも同様のテーマで研修を行いました。自治体・農家・農協が連携し、あきたこまちやコシヒカリを超えるお米をつくりたいという強い熱意が伝わって参りました。

滝川市では「ウェルカム・プロジェクトについて」視察を行いました。これは市への移住希望者に対する相談窓口を設置し、定住へ向けてサポートを行う移住定住促進事業であります。事業の一環として夏季限定の「季節移住」として夏限定の「モニターツアー」等、りんご狩りやそば打ち体験に参加してもらおう「モニターツアー」等、短期間の居住体験会も企画して市の魅力のアピールを行っており、平成17年10月の受付開始から現在に至るまでに8組17名の完全移住者を迎えるという素晴らしい成果



当別町役場で説明を受ける企画産業常任委員

## 議長交際費

7月1日～9月30日

摘要	件数	金額
弔意	2件	60,000円
慶祝	36件	195,886円
協賛	5件	62,184円
合計	43件	318,070円

をあげておりました。当市でも人口減少に歯止めをかけるため、企業誘致や雇用対策に取り組んでおりますが、滝川市のような、市が元々持っている自然や伝統行事に着目した新しい売り込み方についても、今後は力を入れていきたいと感じたところでありました。

(委員長 橋村 誠 記)

## 提出された議案と審議結果

(このページにのみ適用) ■原案可決 ■同意 ■認定 ■承認 □継続審査

【第3回 定例会】 8月31日～9月16日(17日間)

- 専決処分報告について(平成22年度大仙市一般会計補正予算(第4号))
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(4件)
- 大仙市移動通信用鉄塔設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市健康文化活動拠点センター「ペアーレ大仙」条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 墓地の永代使用料の還付制度の統一に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 大仙市地域交流センター「はびねす大仙」条例の制定について
- 大仙市公共施設修繕引当基金条例の制定について
- 大仙市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の制定について
- 字の区域の設置について
- 字の区域の変更について
- 大仙市過疎地域自立促進計画の策定について
- 市道の路線の認定について
- 平成21年度大仙市上水道事業剰余金の処分について
- 平成22年度大仙市宅地造成事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市一般会計補正予算(第5号)
- 平成22年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度大仙市老人保健特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市土地地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度大仙市宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成22年度大仙市上水道事業会計補正予算(第1号)
- 平成21年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成21年度市立大曲病院事業会計決算の認定について
- 平成21年度大仙市上水道事業会計決算の認定について
- 平成22年度大仙市一般会計補正予算(第6号)

## 請願・陳情・意見書

## 【請願】

◇郵政民営化のさらなる推進に関することについて

提出者=大仙路の会 郵政民営推進委員会

代表 佐藤昭吉

紹介議員=杉沢千恵子議員

【継続審査】

## 【陳情】

◆司法修習生の給費制の存続を求めることについて

提出者=秋田弁護士会 会長 狩野節子

【継続審査】

## 【意見書】

●子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書 【原案可決】  
 ※上記の意見書は、杉沢千恵子議員ほか2名の賛成者からの提案により議決し、内閣総理大臣と厚生労働大臣に要望しました。

## 議会のうごき

## 【7月】

- 5日 大分県竹田市議会行政視察来庁
- 9日 議会報編集委員会、政治倫理条例検討委員会
- 13日 大分県中津市議会行政視察来庁
- 13～15日 企画産業常任委員会所管事務調査
- 15日 教育福祉常任委員会所管事務調査
- 20日 群馬県太田市議会行政視察来庁
- 21日 香川県観音寺市議会行政視察来庁
- 22日 群馬県高崎市議会行政視察来庁
- 20～22日 総務民生常任委員会所管事務調査
- 26日 議員全員協議会、常任委員会正副委員長会議
- 30日 愛知県稲沢市議会行政視察来庁

## 【8月】

- 10日 愛知県大府市議会行政視察来庁
- 〃 大仙市仙北市美郷町議会議員研修会
- 11日 愛知県一色町議会行政視察来庁
- 17日 議員全員協議会、議員定数検討委員会
- 〃 企画産業・建設水道常任委員会所管事務調査
- 20日 教育福祉常任委員会所管事務調査
- 23日 愛媛県今治市議会行政視察来庁
- 24日 議会運営委員会
- 31日 第3回定例会(第1日目)
- 〃 議会運営委員会、議員全員協議会、会派代表者会議
- 〃 建設水道常任委員会協議会

## 【9月】

- 8日 第3回定例会(第2日目)、議会運営委員会
- 〃 議員研修会
- 9日 第3回定例会(第3日目)
- 10日 各常任委員会審査
- 14日 議会運営委員会
- 16日 第3回定例会(第4日目)、決算特別委員会
- 〃 議員全員協議会



編集後記

厳しい猛暑に見舞われた夏も過ぎ、晩秋からいよいよ冬本番を迎える季節になりました。市民の皆様も、慌ただしい毎日をお過ごしのことと思います。

元気で病気とは無縁のような菊地幸悦議員が退院後、先般定例会にて一般質問をされましたが、まさかこれが人生最後の質問になるとは誰もが思いもせず、ただ人生の無常を感じるばかりです。故人もさぞかし心残りの事と思います。

当議会と致しましても、菊地氏の意志を引き継ぎ、仙北組合総合病院改築問題をはじめとして、大仙市の山積する難題に全力で取り組み、大仙市民が安心して暮らせるよう更なる努力をしてまいりたいと思う次第です。

菊地幸悦氏のご冥福をお祈りいたします。

編集委員 高橋敏英 記